

はし はか 箸墓古墳 (3世紀後半頃)

～最初の巨大前方後円墳、卑弥呼の墓??～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. アクセス

資料
番号

A3

初版：2025.11.17



1. おすすめポイント

★最古級の前方後円墳でありながら綺麗な姿

(残念ながら宮内庁の管理下にあり、立ち入ることはできません)

★三輪山の麓、大神神社や纏向遺跡、纏向古墳群などにも是非立ち寄って古代のロマンに浸ってください

- ・大神神社：三輪山をご神体とする最古形式の神社
- ・纏向遺跡：邪馬台国畿内説の有力候補地
- ・纏向古墳群：定型化した最初の前方後円墳である箸墓古墳に先立つ古墳群、“纏向型前方後円墳”に注目

当時の姿を留めてはいないのですが・・・

2. 説明

【形式、大きさ】 前方後円墳（前方部が撥状である古形式）
全長 278m（全国 11 位）
最古にして 11 位はすごいです。

【築造時期】 3 世紀後半頃
諸説ありますが“定型化した最初の巨大前方後円墳”
であることに異を唱える人はいないようです。

【被葬者】 やまとととひももそひめのみこと
宮内庁は「倭迹迹日百襲姫命」としている
倭迹迹日百襲姫命=卑弥呼という説から“卑弥呼の墓”と
呼ぶ人もいます
このあたり、纏向が考古学的に邪馬台国の所在地と確定
すれば進展があるかもしれません。

【特記事項】
”定型化した最初の巨大前方後円墳“に関して・・・

- ・それまでの、どちらかと言えば平面的な墳墓に対して、立体的にして“**見せる**”意図が明確なのは、吉備の楯築遺跡や出雲の西谷 3 号墓など弥生時代後期に現れた特徴的な墳墓の影響が感じられます。
ホントに“山”のようです。
- ・吉備の“**特殊器台**”が採取されていることや出雲の西谷 3 号にみられる“**葺石**”が見つかることから吉備や出雲の影響を見てとれます。



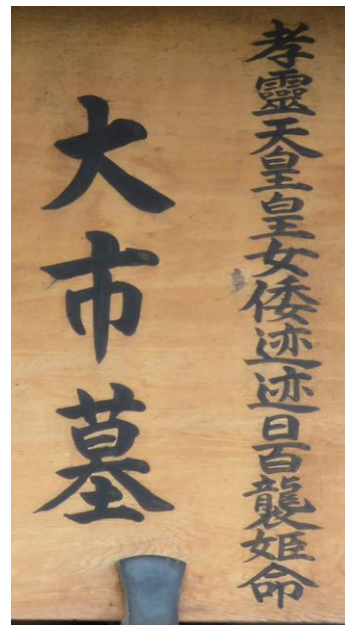
2-1

5 章の説明板から抜粋

2015.7.30



3-1 拝所



3-2



3-3 拝所への道（前方部端）



3-4

左の山のように見えるのが古墳



3-5 ホケノ山古墳頂から後円部を見る

2020.7.8

三輪山



4-1

聖なる三輪山を背景に東南東を望む

畝傍山

耳成山



4-2

ホケノ山古墳上空から西南西を望む



4-3

北北東を望む (左下が後円部)



4-4

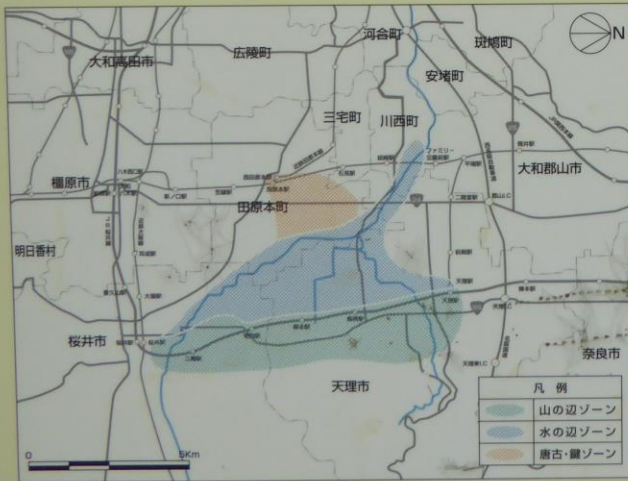
古墳の南面側面

美しいです

5. アクセス

2015.7.30

HAZ



- 山の辺ゾーン** ・わが国最古の道といわれる山の辺の道を中心とするゾーン
- 水の辺ゾーン** ・大和平野の舟運を支えてきた大和川を中心とするゾーン
- 古・蹟ゾーン** ・弥生時代を代表する環濠集落として知られる唐古・竊道跡を中心とするゾーン

5-1

現地案内板 (次頁に部分拡大)

2015.7.30



5-2



5-3

前頁案内板の部分拡大

JR巻向駅が最寄りです
是非、古代史の宝庫を巡ってみてください